

日時 平成22年12月17日(金) 18:30～20:15
場所 登別市市民活動センター 2階 D会議室
出席者(役員) 関修 大山口光男 平田和弘 平田誠治 関川昭雄
高橋忍三 *吉野良子 鎌田和子 佐々木幸彦 瀧川正義 (*:欠席者)(敬称略)
第1回議事録作成 瀧川

審議・確認事項

1. リーダーより

(1) 役員会での経過説明を行なった。

リーダー 関修 サブリーダー 大山口光男 瀧川正義

3人で今後の推進方法を検討したが、全て意見が一致した訳ではない。しかし、方向性は食い違ってないので、皆さんの意見を取り入れながら、ざっくばらんに参画を得て進めていきたい。今までの検討内容はサブの瀧川氏に説明をお願いします。

(2) 検討内容の説明

資料が11月30日に役員会で説明したものと一緒です。

事業見直しと言うと「事業仕分けや外部評価」を連想しますが、行政と対立するのではなく、「住みよいまちづくり」のために、いかに協働で作り上げるかを考えていきたい。

そのためには、検討すべき道筋・目的を明確にするような話し合いを十分に行い、本委員会のメンバーの意志を共有する必要がある。

以上を踏まえて、資料の内容を説明する。(資料は11月30日と同じもの)

2. 審議内容

(1) 内容について

市職員がこの理念を理解して自ら業務を改善していくことは難しいのではないかと。

企画委員会が意見書を答申しても、必ずしも受け入れられるものではない。しかし、検討の過程を協働で行なうことで、仕事の進め方を意識し、かなりの改善が期待できるものと考えられる。ボランティア活動なので、気楽に気張らないで説得していくことが大切と思う。本委員会の作業内容はどこまで行なうのか。

公式には意見書の答申を行なうところまでと考えている。

ア) 大切なのは、行政の不備・無駄を指摘することではなく、評価できるところを顕在化することを多くし、自主的な業務改革へのインセンティブを喚起することが大事である。

イ) 民間会社なら目標が明確なのだが、担当者のお役所仕事は収入については無尽蔵であるかのように無頓着に扱っているように見え、コストをどこまで気にしているのか我々に伝わってこない。

協働で検討する中で、お互いに理解し合い、良い方向にして行けばよい。

要は「住みよいまちづくり」のための取組としたい。

(2) 今後の検討方法

内容が非常に難しいので、リーダー・サブリーダーがたたき台を作ります。それを皆で意見交換してまとめていくこととしたい。

(3) その他

個別の検討テーマが出た(事業仕分けの追跡評価・市のコンピュータシステムに無駄があるとの指摘を聞いたので、その検討等)が、今後の検討の中で考えて行くことにする。

次回 企画委員会開催予定

平成23年1月24日(月) 18:30～20:30

以上